



病診連携通信

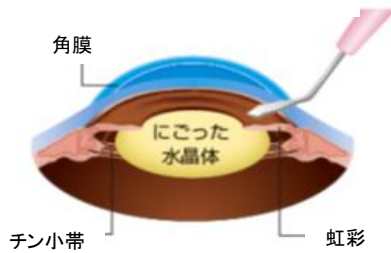
第6号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
平成27年6月

多焦点レンズの案内

白内障手術(水晶体再建術)は、濁った水晶体を取り除き、人工の“眼内レンズ”を挿入します。保険診療で認められているレンズは“単焦点”なので、はっきり見える範囲が限られ、ピントがよく合わない領域が生じます。このため、手術後にメガネが必要になる場合があります。

①切開します



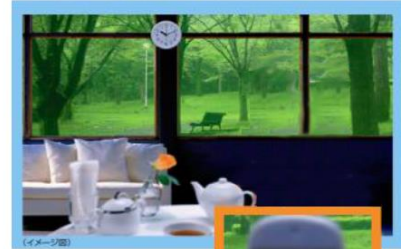
②にごった水晶体を砕いて吸い出します



③眼内レンズを挿入します



単焦点(従来の眼内レンズ)



遠くか近くのどちらかだけにピントを合わせます。(イメージは遠くにピントを合わせた場合です)



近くの見え方(眼鏡なし)

多焦点



遠い景色にも手元にもピントが合っています。



近くの見え方

この度、“多焦点レンズ”を導入することによって、遠くにも近くにもピントを合わせることができるようになりました。

当面、このレンズを用いた白内障手術は“自由診療”となりますが、手術後におけるメガネの必要性を大きく減少させることができます。ご興味を持たれたり、ご希望する患者さんがおりましたら、費用等についてお気軽にお問い合わせ、ご紹介ください。
(眼科:神田尚孝)

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせは

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表)

をお願い致します。